

## ～ 端午の節句のお話し ～



5月に入り、いよいよ夏日になることも多くなってまいりました。  
今月号は5月5日、こどもの日についての豆知識を取り上げてみました。

## ～ 端午の節句、粽（ちまき）の由来 ～

今からおよそ2300年前の中国に、屈原（くつげん）という詩人がおりました。

屈原は国王の側近として仕え、その正義感と国を思う強さで人々から大変慕われていましたが、陰謀によって失脚し、国を追われてしまいました。

国の行く末に失望した屈原は、汨羅（べきら）という川に身を投げてしまったそうです。その日が5月5日だといわれています。

国民は屈原の死を悲しみ、川に沈んだ屈原が魚に食べられてしまわないよう、小船の上から太鼓を叩いて魚をおどしたり、供物を投げ入れて弔いをしていましたが、せっかくの供物も、屈原のもとに届く前に悪い龍に盗まれてしまうばかり。

そこで、龍が苦手になっている楝樹（れんじゅ）の葉（※楝樹（れんじゅ）・茅（ちがや）・笹などの説があり）でもち米を包み、邪気を払う五色（赤・青・黄・白・黒）の糸で縛ってから川へ流すようにしたところ、無事に屈原のもとへ届くようになったといわれています。

これが粽（ちまき）の始まりとなり、中国では5月5日に粽を作って災いを除ける風習ができ、端午の節句とともに粽が日本に伝来しました。

また、粽に結んだ赤・青・黄・白・黒（紫）の五色の糸は、子どもが無事に育つよう魔よけの意味を込め、鯉のぼりの吹流しの色などに反映されているそうです。

### <ちなみに…>

日本における国民の祝日の一つとして、1948年（昭和23年）に、端午の節句である「5月5日」が「こどもの日」に制定されました。

国民の祝日に関する法律（祝日法）では「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」ことを趣旨としています。

但し、「こどもの日」と男の子の成長を祝う「端午の節句」は同日なのですが、実は別物であるそうです。





そういえば、  
端午の節句の食べ物は  
粽（ちまき）と柏餅（かしわもち）  
両方あるのはなぜ？

これ、実は

西は粽（ちまき）、東は柏餅（かしわもち）

が食される傾向にあります！



柏餅・・・あずき餡をくるんだ白い餅を柏の葉で包んだお菓子  
ちまき・・・葛粉や米粉で作った餅を笹の葉でくるんだお菓子  
どちらもこどもの日に食べるものとして知られていますが、  
柏餅は東日本、ちまきは西日本で食されるという傾向があります。

諸説あるようですが、有力なものとしてされるのは

### < 柏餅 >

柏には「若い芽が生えるまでは、冬であっても葉が落ちない」という習性があり、子孫繁栄の象徴のように扱われていました。

武家社会だった江戸時代では「跡継ぎ」である子ども（男児）を大切に考える考えがあり、そこで現在の「こどもの日」の原型が生まれ、当時幕府が置かれていた東日本を中心に柏餅が食べられるようになったそうです。

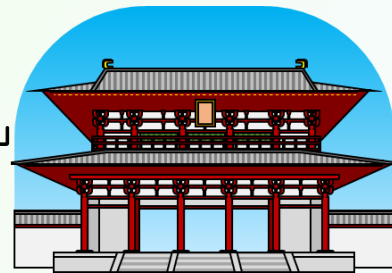


### < ちまき >

前述の通り、中国で生まれた食べ物。

楚（そ）の国で活躍した政治家・屈原が川に身投げし、民衆が供養の意味を込めて川に投げ込んだ食べ物が「厄除け」の意味合いを持つようになった。

日本には奈良時代に伝わっており、当時の都（平城京）が奈良にあったため西日本を中心にちまきが伝わったとされています。



「売物件が  
不足しております！」

私たちは、土地や建物の仲介のみではなく、  
声かけ頂ければ、何でもお役に立てます！

～土地・建物のよろず屋～

好評につき、物件が不足中です  
「お声がけ」を頂いただけで結構です



マルヒロ不動産(株)

名古屋市中村区横前町109番地

TEL: 052-413-4628



<https://maruhiro2103.co.jp>